

エトポシド療法【150mg/m²】

ID
氏名
年齢
科名
病棟

エトポシド療法【150mg/m²】

疾患名 血球貪食症候群

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)
 スケジュール

エトポシド	150 mg/m ²	day1 ↓
-------	-----------------------	-----------

【注意】 * エトポシドは溶解後結晶が析出するため、用時 100mg を輸液 250mL 以上で溶解（濃度 0.4mg/mL 以下の濃度になるように）し、30～60 分で点滴静注するのが望ましい。また、DEHP フリー点滴セット（フィルターなし）を使用する。エトポシドの濃度が 0.4mg/mL を超える場合、エトポシド原液をシリンジに充填して交付。施行直前に病棟にて希釈輸液に混和して点滴する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day1

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20mL/時間)
- ② グラニセトロン内服ゼリー (2mg) 1包 内服
- ③ デキサメタゾン 6.6 mg(2mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 120 分 (250 mL/時間)

◎ 終了後、メインの生食でルート内フラッシュして抜針

月日	/	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						